竜串海岸の地層（2）

生痕化石

生痕化石とは、生き物がかつて何かを行ったことの記録が化石になったものです。古代の足跡、巣穴、糞はすべてそのような化石の例です。はるか昔に滅んだ生物の行動や生息環境を研究する科学者にとって有益です。竜串海岸には生痕化石が多く存在します。

[キャプション]

アナジャコの巣穴の生痕化石

よく見てください。地表は小さなこぶで覆われています！

このこぶ、あるいは小粒は、アナジャコが巣の壁を補強するためにこしらえたものです。

結核（ノジュール）

この奇妙な丸石は竜串海岸一帯で目にすることができます。生物の死骸と海水中のカルシウムが反応して、わずか数カ月で形成されます。

[キャプション]

結核は地球に特異的なものではありません。同じような形状のものが火星にも見られます。それらはあの赤い惑星のはるか昔や、かつて生物が存在したかどうかを解き明かす糸口になるのではないかと研究者は期待しています。

竜串ではさまざまな結核を目にすることができます。

火星の結核。